



エコモー★メンバーになろう!



サロベツ・エコモー・プロジェクトでは、サロベツの自然や文化を楽しむ地域活動を行っている方々を募集しています。毎年活動の報告会、交流会を行い、活動の環を広げる取り組みを進めています。あなたも「エコモー★メンバー」になってみませんか?



▲活動報告会の様子

エコモー★メンバーになると、こんな特典があるよ。

特典1

サロベツ・エコモー・プロジェクトのホームページにて活動をご紹介します。

特典2

登録時にメールアドレスを記載していただくとイベント情報が配信されます。

特典3

エコモー★メンバーの証、「エコモー★メンバー登録バッジ」をお渡しします。



特典4

「エコモー★メンバー登録バッジ」をお持ちの方には様々な特典があります!!

- エコモー★メンバー交流会に参加することができます。
- エコモー★メンバー対象のプレミアム学習ツアーにご招待!! ...など



どんな人が登録しているの?

地域と自然が元気な、そんなサロベツにしていきたい、という思いの方が登録しています。(中面で実際の活動をご紹介します)

どうやって登録できるの?

登録用紙(別紙)にご記入の上、郵送・FAXでお送りいただくか、ホームページからも登録できます。



サロベツ・エコモー・プロジェクト 活動報告集2012

詳細は下記のウェブサイトをご覧ください。

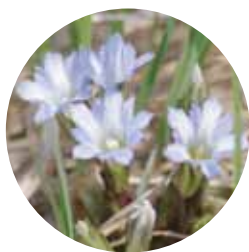
<http://sarobetsu-saisei.jp/ecomomo/>

サロベツ・エコモー・プロジェクト受付窓口 (サロベツ湿原センター内)

〒098-4100 北海道天塩郡豊富町上サロベツ8662番地 TEL:0162-82-3232 FAX:0162-82-1009 E-Mail:ecomomo@sarobetsu.or.jp



エゾカンゾウ



タテヤマリンドウ



ノハナショウブ



モウセンゴケ



ミズバショウ



ミズゴケ



ヒメシャクナゲ



タチギボウシ



エゾリンドウ



ツルコケモモ



サロベツ・エコモー・プロジェクト 活動報告集2012 もくじ

P03・04. サロベツ・エコモー・プロジェクトってどんな活動?

プロジェクト活動報告

- P05. サロベツHANAマラソン2012HRC幌延ランニングクラブ
- P06. サロベツ湿原保全ボランティア活動とサロベツ学会 等
ウォーキング、2012年夏
- P07. 上サロベツの自然と農業を学ぶパネル展北海道開発局 稚内開発建設部
- P08. 上サロベツ農業情報マップ北海道開発局 稚内開発建設部
- P09. 顔出しパネルJA北宗谷青年部
- P10. サロベツ自然語講座NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク
- P11. 外来種からサロベツを守ろう!NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク 等
- P12. サロベツ川&ベンケ沼清掃NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク
- P13. 押忍!我ら豊富町『カレー部』!みさたろとゆかいな仲間たち&サロベツクッキングクラブ
- P14. ポニーの幌馬車(夏)・馬ソリ(冬)東條信雄・恵太
- P15. 稚咲内砂丘林再生プロジェクトNPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク 等
- P16. サロベツサブレんジャー北大植物同好会
- P17. 秋の渡り鳥観察会日本野鳥の会 道北支部 等
- P18. 木道ナイトハイク利尻礼文サロベツ国立公園パークボランティアの会 等
- P19. サロベツ環境学習ツアー環境省 稚内自然保護官事務所 等
- P20. サロベツ・エコモーDay環境省 稚内自然保護官事務所 等
- P21. ごみのポイ捨て防止啓発活動農地・水保安全管理支払交付金 豊徳地区協議会 等

P22. サロベツ周辺マップ

サロベツ湿原では、多様な人間活動の影響により湿原の減少や劣化が進んでいます。このため、「湿原と農業の共生」を目指して地域の多様な主体が協力して自然再生の取り組みを進めています。

サロベツ・エコモー・プロジェクトは、サロベツの自然や文化を楽しむ活動の環を広げ、湿原と農業が共生する地域づくりを進めるためのプロジェクトです。自然再生の取り組みが行われているサロベツを身近に感じてもらえるような、楽しい活動がたくさん行われています。

2012年は17の活動の登録がありました。この報告集では、それらの活動をご紹介します。

サロベツ・エコモー・プロジェクト ってどんな活動？

サロベツ・エコモー・プロジェクトは、サロベツの自然や文化を楽しむ活動の環を広げ、**湿原と農業が共生する地域づくり**を進めるためのプロジェクトです。自然再生の取り組みが行われているサロベツを身近に感じてもらえるような、楽しい活動がたくさん行われています。



”エコモー”7つの行動

サロベツ・エコモー・プロジェクトでは、サロベツの自然や文化を楽しむ活動の内容を、7つに分類しています。本誌では、それぞれ活動に対し当てはまるものを次のようにマークしています。



サロベツを見つけよう



サロベツの話をしよう



サロベツを楽しもう



サロベツのことをまとめよう



サロベツのことを伝えよう



サロベツをまもろう



サロベツでつなげよう



「サロベツ湿原」ってどんな湿原？

サロベツ湿原は、天塩川支流のサロベツ川流域にあり、豊富町と幌延町内に位置します。湿原には、低地においては日本最大の面積を誇る高層湿原が存在し、それを取り囲むようにして中間湿原、低層湿原が分布しています。また、湿原の周辺にはペンケ沼、バンケ沼などの湖沼が点在しており、渡り鳥の重要な中継地となっています。このようにサロベツ湿原は多様な自然環境があり、野生動植物の生息・生育地としても重要であることから、昭和49(1974)年に利尻礼文サロベツ国立公園に指定されました。また、平成17(2005)年には、ラムサール条約湿地に登録されました。

注1) 利尻礼文サロベツ国立公園：昭和49年、日本で27番目の国立公園に指定。

注2) 高層湿原：長い年月をかけて泥炭が蓄積され(約1mm/年)、周囲よりも高くなっているため、雨水(雨・雪・露)によって涵養されている湿原を指します。植生はミズゴケが主体となります。

注3) ラムサール条約：正式名は、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」。湿地の保全などを目的に、イランのラムサールで最初に締結されました。サロベツ原野は世界で1555番目の登録地。

サロベツ湿原をまもるための事業「上サロベツ自然再生事業」ってどんな取り組み？

サロベツ湿原では、多様な人間活動の影響により湿原の減少や劣化が進んでいます。(昭和40年代以降の大規模開発の進展と共に湿原面積が減少し、現在もササ地の拡大が進んでいます。)このため、湿原の自然再生と農業の振興、そして地域づくりを図ることを目的として、地域住民、NPO、関係行政機関、専門家などで上サロベツ自然再生協議会をつくり、自然再生の取り組みを進めています。

サロベツ・エコモー・プロジェクトと「上サロベツ自然再生事業」の関係は？

湿原を守るため、地域の関係者が一体となり、「上サロベツ自然再生事業」に取り組む中で生まれた活動が、サロベツ・エコモー・プロジェクトです。

次のページから
サロベツ・エコモー・プロジェクト
2012年度の活動
をご紹介します。





サロベツHANAマラソン2012

●HRC幌延ランニングクラブ

- 日 時:7月8日(日)9:00スタート
- 場 所:サロベツ原野
- 参加者数:10名



- 1 サロベツの自然の中を颯爽と走る参加者。
2 コースは法昌寺から幌延ビジターセンター、サロベツ湿原センターを経由して豊富温泉までの42キロ。

活動内容・成果

「サロベツ原野を颯爽と走ろう」をテーマとして、日頃個々に走っている10名が集い、法昌寺から幌延ビジターセンター及びサロベツ湿原センターを経由して豊富温泉までの42キロを走りました。

ランナーはサロベツに咲くエゾカンゾウや野鳥の囀りを耳にしながら、楽しく走ることができました。

実施者からの声

事故もなく全員完走(ハーフ2名、フル8名)できて良かったです。
来年もぜひ走りたいと思います。

- 連絡先:HRC幌延ランニングクラブ 稲垣 紘順
- TEL:01632-5-2556 ●E-mail:bozu.2556.kjk@star.ocn.ne.jp



サロベツ湿原保全ボランティア活動とウォーキング、2012年夏

●サロベツ学会
●エコ・ネットワーク

- 日 時:8月4日(土)、5日(日)
- 場 所:サロベツ湿原のササ群落地
- 参加者数:25名(インドネシア人:19名、日本人:6名)



- 1 サロベツ湿原センター前にて記念撮影。
2 折り紙で交流を深める子供達。
3 参加者への絵本の読み聞かせ。

活動内容・成果

サロベツ学会とエコ・ネットワークの共催で「サロベツ湿原の保全と大人と子供のための環境教育、2012年夏」の活動を行いました。NPO法人北海道カリマンタン交流協会から、札幌からの交通費(貸切バス)と豊富セミナーハウスの部屋代の援助があり、インドネシアから北大に留学している学生やその家族、札幌近郊のボランティアグループ、総勢25名の参加がありました。4日午後はササ群落まで歩き、2人1組で地下水位の測定を行い、子供たちと母親はサロベツ湿原センターでクイズ形式の自然学習を行いました。5日午前、バスに乗って町内の観光スポットを巡るチームと豊富町市街地から温泉までのフットパスコースを歩くチームに分かれて、それぞれの活動を楽しんでもらいました。

実施者からの声

自然と触れあえる楽しみは老若男女、国籍、宗教を越えたものであることを実感しました。

- 連絡先:稲垣 紘順
- TEL:01632-5-2556 ●E-mail:bozu.2556.kjk@star.ocn.ne.jp



上サロベツの自然と農業を学ぶパネル展

●北海道開発局 稚内開発建設部

- 日 時:平成24年4月～平成25年3月
- 場 所:サロベツ湿原センター、豊富町民センター



1「豊富町ホッキまつり」での展示。 2「サロベツ湿原センター」内での展示。 3「サロベツ・エコモーDay」での展示。

活動内容・成果

農業と湿原の共生を目指す上サロベツ地域の取り組みや、農業の振興に関する地域情報を紹介するパネル展を開催しました。

豊富町ホッキまつりやサロベツ・エコモーDayでは、エコモー★サポーターとして稚内開発建設部が取り組む自然再生事業や、豊富町の地域活動を紹介した「わが村は美しく-北海道」運動などについての展示を行いました。特に今年度は、サロベツ湿原を形成する泥炭を展示し、見学者に触ってもらうなどの工夫をしました。

また、サロベツ湿原センターでは、上サロベツ農業情報マップをパネルにしたものを展示し、湿原センターを訪れる方に見てもらいました。

実施者からの声

稚内開発建設部が行う自然再生事業や地域農業、地域での活動を知って欲しいと思います。

- 連絡先:稚内開発建設部農業開発課
- TEL:0162-33-1167



上サロベツ農業情報マップ

●北海道開発局 稚内開発建設部
●豊富町

- 日 時:平成24年4月～平成25年3月
- 場 所:サロベツ湿原センター、豊富町役場、豊富町民センター等



上サロベツ農業情報マップ(表)

上サロベツ農業情報マップ(裏)

活動内容・成果

上サロベツ地域の農業情報を紹介する「上サロベツ農業情報マップ」をサロベツ湿原センター、豊富町役場、豊富町民センター等の公共施設やマップ掲載団体に置き、町民や来町者等に情報提供を行っています。また、豊富町ホッキまつりやサロベツ・エコモーDayなどでも配布しています。

今年度は、昨年度を大きく超える1,700枚を配布しています。特にサロベツ湿原センターの来場者に好評であり、今後もこの活動を継続していきたいと考えています。

実施者からの声

地域の農業情報を多くの人に知ってもらうために、役立てて欲しいと思います。

- 連絡先:稚内開発建設部農業開発課
- TEL:0162-33-1167



顔出しパネル

●JA北宗谷青年部

- 日時:平成23年8月17日(水)より継続設置
- 場所:サロベツ湿原センター
- 参加者数:54名



1 記念撮影をする来館者。
2 部員達の手によって作成された顔出しパネル。

活動内容・成果

サロベツに訪れたことの記念と、基幹産業である酪農のPR及び牛乳の消費拡大の啓蒙を目的として、豊富支部部員(総数54名)が、顔出しパネルを作成しました。

作成した顔出しパネルは、サロベツ湿原センターに平成23年8月17日から設置、展示しています。

親子や友人同士で記念写真を撮られる方が数多く見受けられました。

実施者からの声

ぜひ北宗谷でつくられている安心・安全でおいしい牛乳を飲んで下さい。

- 連絡先:JA北宗谷 営農部営農課 JA北宗谷青年部事務局(事務局 草野)
- TEL:0162-82-2112



サロベツ自然語講座

●NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク

- 日時:・7月1日(日)「サロベツってどんなところ?」・8月12日(日)「サロベツの貴重な生き物たち 希少生物と外来生物」
・9月2日(日)「湿原の生みの親 海岸砂丘林」・10月7日(日)「サロベツの渡り鳥」
・11月5日(日)「サロベツ検定～自然編 2012」
- 場所:サロベツ湿原センター(フィールドとして、9月は稚内内海岸砂丘林、10月は下沼地区の牧草地も利用)
- 参加者数:20名



1 渡り鳥を観察する参加者。 2 フィールドに出て自然・動物を観察。 3 今年度は各回13～19名が参加。

活動内容・成果

平成19年度より継続実施している自然語講座を本年度も実施しました。この活動は、多くの方にサロベツ原野の自然や歴史を机上の講義とフィールドでの体験を通して学んでいただくことによって、より身近なものとして感じてもらい、それを他の人に伝えることのできる人材になってもらえるよう企画したものです。

6月から11月までの期間において、各回異なるテーマを通して、サロベツの自然の多様さと面白さを参加された方々と学んできました。今年度は20名が年間受講に登録され、単発で参加された方を含めて各回13～19名にご参加いただきました。

実施者からの声

今年度は新たなフィールドとして、関係方面に許可を得て海岸砂丘林を見学し、通常は立ち入りできない場所に入ることができ、大変好評でした。

月2回以上実施してほしいなどの意見もあり、今後の参考にしたいと思います。

- 連絡先:NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク
- TEL:0162-82-3950 ●E-mail:info@sarobetsu.or.jp



外来種からサロベツを守ろう!

●NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク

●利尻礼文サロベツ国立公園パークボランティアの会(豊富部会)

- 日時: 5月27日(日)「春のオオハングソウ除去」・7月18日(水)「夏のセイヨウオオマルハナバチ駆除」
・10月21日(日)「秋のオオハングソウ除去」
- 場所: 利尻礼文サロベツ国立公園内の各所
- 参加者数: 延べ34名



1 セイヨウオオマルハナバチの駆除活動の様子。 2 オオハングソウの除去活動の様子。
3 作業を終えて記念撮影。今後も外来種の調査を続けます。

活動内容・成果

原生の自然が残るサロベツ原野においても、多くの外来種が侵入しています。これまでもこの活動では、サロベツから少しでも外来種を減らすことを目標に、国立公園の各所でオオハングソウの除去活動を行ってきました。今年度も同様に、春・秋の2回の除去イベントを行いました。また、湿原センターでセイヨウオオマルハナバチの巣を発見し駆除しました。さらに、今年度からサロベツ原野周辺に、どのような外来種が侵入しているかの調査を始め、その一部を紹介するチラシを作成しました。今後も外来種の調査を続けつつ、その情報を紹介していきたいと思ひます。

実施者からの声

今後も継続して活動していきます。ご興味のある方は、是非ご参加下さい。

●連絡先: NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク

●TEL: 0162-82-3950 ●E-mail: info@sarobetsu.or.jp



サロベツ川&ペンケ沼清掃

●NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク

- 日時: 6月~10月にかけて全6回
・6月30日(土) ・8月11日(土) ・8月25日(土) ・9月29日(土)
・10月18日(土) ・10月25日(土)
- 場所: ペンケ沼及び周辺河川
- 参加者数: 延べ40名



1 カヤックを活用して、ペンケ沼と周辺河川の清掃活動を行う。 2 上流からゴミ等が大量に流れこむペンケ沼。
3 6回で40ℓゴミ袋77袋、計240kgものゴミを回収。

活動内容・成果

サロベツ湿原やその周辺のペンケ沼を含む大小さまざまな湖沼は、渡り鳥の中継地や多くの動植物の生息地となっており、非常に豊かな生態系を支えている国際的に重要な湿地です。しかし、昭和初期の排水路整備によりペンケ沼には大量の土砂と共に生活ゴミ等も流れてくるようになりました。そのため、カヤックを活用し、ペンケ沼と周辺河川の清掃活動を行いました。全6回で40ℓゴミ袋77袋、計240kgものゴミを回収することができました。

実施者からの声

いざ実施してみると想像以上のゴミが散在していました。今後もゴミを回収する方法を検討し実施します。地域の宝を守るため、みなさんご参加、ご協力をよろしくお願い致します。

●連絡先: NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク

●TEL: 0162-82-3950 ●E-mail: info@sarobetsu.or.jp

押忍!我ら豊富町『カレー部』!

●みさたろとゆかいな仲間たち&サロベツクッキングクラブ

- 日 時:11月11日(日)
- 場 所:稚内市内
- 参加者数:7名



1



2

- 1 グリーンカレーもキーマカレーもおいしいと大好評。
2 サロベツに思いをはせながら楽しくカレーを試食するメンバー。

活動内容・成果

11月11日に、サロベツ花カレーの試食会を行いました。
今年は湿原のイメージにこだわってみました。外側は低層湿原をイメージしたグリーンカレー、ご飯部分はエゾカンゾウ咲く中間湿原のサフランライス、真ん中は泥炭の高層湿原をイメージしたキーマカレーになっています。

実施者からの声

今年もおいしいカレーが出来ました!
今回は見た目重視であったこともあり、サロベツ産の食材を取り入れることが十分ではなかったため、次回はサロベツの食材を取り入れた花カレーを作りたいと思います。

- 連絡先:田中 美佐保
- E-mail:misataro.kaeruchan@gmail.com

ポニーの幌馬車(夏)・馬ソリ(冬)

●東條信雄・恵太

- 日 時:日曜日9時~15時(前日までに電話予約で対応)
- 場 所:豊富町東豊富、豊富温泉雪あかり、湿原センター、ホッキ祭り
- 参加者数:約250名(豊富温泉雪あかり50名、ホッキ祭り200名)



1



2



3

- 1 夏は幌馬車として、イベント参加者などが多数乗車。 2 ポニーに触れる事が出来て、楽しそうな子供達。
3 冬期はライトアップされ、豊富温泉雪あかり会場で体験乗車ができる馬ソリ。

活動内容・成果

観光向けとして夏は幌馬車、冬は馬ソリの体験乗車を行っています。
ホッキ祭りでは昨年よりも多い200名(昨年170名)の方に乗ってもらうことができました。
試験的にサロベツ湿原センターの前で実施しましたが、今年はうまくいかなかったため、今後乗ってもらえるように工夫していきたいと思っています。
来年以降は時間とコース、安全管理、PR方法などを工夫し、さらに冬場にも何かできないか検討したいです。

実施者からの声

可愛いポニーの幌馬車や馬ソリにぜひ皆さんも乗ってみて下さい。本当に楽しいですよ!

- 連絡先:東條 信雄
- TEL:090-2074-3988



稚咲内砂丘林再生プロジェクト

●NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク●稚咲内町内会●豊富町
●宗谷総合振興局●環境省 稚内自然保護官事務所

- 日時: 5月～11月 稚咲内砂丘林防風柵内・苗畑(旧稚咲内保育所前庭)
5月 柵内草刈作業 6月 苗木植樹イベント 7月 苗畑草取り 8月 カウント調査
9月 柵内草刈作業 10月 苗木補植作業 11月 苗木植樹イベント
- 場所: 稚咲内砂丘林
- 参加者数: 延べ157名



1 森林再生のため、ミズナラやイタヤカエデの苗木を植樹。2 地元住民を中心に、多くのボランティアが参加している。3 専門家による作業の指導風景。

活動内容・成果

国立公園内の特別保護地区の稚咲内砂丘林(町有林)において、無立木地化した約3haの森林再生に向けて、現砂丘林帯と同植生のミズナラ・イタヤカエデの苗木を育て、植樹するプロジェクトです。今年は着手から8年目を迎え、新たに1,561本植樹し、計2,555本となりました。68区画ある区画に、8年目でようやく全区画で植樹が終わりました。今年度の主な活動としては、春と秋の2回に分けて、植樹イベントを実施しました。中でも、地元高校生の参加があり、着実に地域に根付く活動になってきました。

実施者からの声

夏場の好天により柵内が渇水状態となり、春植えの苗木が枯れてしまうという事態となりました。しかし、秋に補植作業を実施したので、来春に芽吹いてくれるかどうかとても待ち遠しく感じています。好天は良いことですが、自然のバランスの難しさを感じた年となりました。

- 連絡先: NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク
- TEL: 0162-82-3950 ●E-mail: info@sarobetsu.or.jp



サロベツサブレングャー

●北大植物同好会

- 日時: 7月下旬～8月下旬
- 場所: サロベツ湿原センター・幌延ビジターセンター
- 参加者数: 3日間で50名(昨年: 50名)



1 サブレングャーによる自然解説。観光客の方にサロベツの自然の魅力を存分に伝える。2 展示物の作製風景。3 幌延ビジターセンターでの活動の様子。

活動内容・成果

北大植物同好会では、20年以上前より毎年夏休みを利用してサロベツ湿原でサブレングャー活動を行なっています。

活動では、自然保護官(レンジャー)の補佐として、観光客向けの自然観察ガイドやセンター内の展示物作製等の業務を中心に、サロベツ川の清掃や外来植物の駆除なども行いました。例年、活動は豊富町のサロベツ湿原センターを中心に行っていましたが、今年は幌延町のビジターセンターでも活動を行い、展示物の作製などを行いました。活動期間中は、豊富町の夏祭りなど地域の行事にも積極的に参加しました。

実施者からの声

活動を通して観光客やNPO、環境省の方々、地元の高校生などサロベツに関わる様々な人たちと交流することができ、とてもよい経験になりました。

- 連絡先: 北海道大学植物同好会
- E-mail: kissa66@ec.hokudai.ac.jp

秋の渡り鳥観察会

- 日本野鳥の会 道北支部 ●利尻礼文サロベツ国立公園パークボランティアの会（幌延部会）
- 環境省 稚内自然保護官事務所

- 日 時：9月23日（日）14:00～16:00
- 場 所：幌延町下沼の牧草地
- 参加者数：22名



1 採餌中のオオヒシクイの群れ。 2 オオヒシクイの群れを観察する様子。
3 実物大のオオヒシクイのぬいぐるみで重さの体験。

活動内容・成果

サロベツ原野は、越冬のためにサハリン・カムチャツカ半島から本州まで南下するオオヒシクイやマガンの渡りの中継地として、ラムサール条約湿地に登録されています。

当日は、動物写真家の富士元寿彦さんに解説をいただきながら、牧草地に飛来したオオヒシクイやマガンを車内や農道から観察し、スタッフである野鳥の会の会員やパークボランティア、環境省職員が解説、観察の補助を行いました。参加した方々には、渡り鳥の飛来状況や生態を知ってもらえたと思います。

実施者からの声

今後も、より多くの人達が渡り鳥に対して親しみを持てる観察会にしていきたいと思います。

- 連絡先：環境省 稚内自然保護官事務所
- TEL：0162-33-1100 ●E-mail：RO_WAKKANAI@env.go.jp

木道ナイトハイク

- 利尻礼文サロベツ国立公園パークボランティアの会（幌延部会）
- 環境省 稚内自然保護官事務所

- 日 時：7月21日（土）20:00～21:30
- 場 所：幌延町下沼法昌寺、パンケ沼園地
- 参加者数：16名



1 日暮れの様子。 2 法昌寺でのレクチャーの様子。 3 募集用のチラシ。

活動内容・成果

幌延町下沼にあるパンケ沼園地には、サロベツ原野の湖沼のうち最も大きなパンケ沼をはじめ、小沼、長沼が点在し、沼の周辺では多くの湿性植物や野鳥などが生育、生息しています。当日は、動物写真家の富士元寿彦さんに解説をいただきながら、パンケ沼沿いの木道を歩き、ヘイケボタルや夜に舞うアオサギの姿、星空を観察しました。ホタルの光、アオサギのシルエットや鳴き声、満天の星空を観察することができ、参加した方々に夜のサロベツの魅力や自然観察のおもしろさを伝えることができたと思います。

実施者からの声

今後も、引き続き安全第一で活動していきたいと思います。
また、次回はスタッフが星空の解説も行えるように準備します！

- 連絡先：環境省 稚内自然保護官事務所
- TEL：0162-33-1100 ●E-mail：RO_WAKKANAI@env.go.jp



サロベツ環境学習ツアー

- 主催:環境省 稚内自然保護官事務所
- 協力:NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク 他

- 日時:・9月30日(日) 9:00~12:30(落合沼)
・10月20日(土) 9:30~14:00(泥炭採掘跡地・山本農場)
・11月4日(日) 10:30~12:30(原生花園園地跡地)
- 場所:落合沼、泥炭採掘跡地・山本農場、原生花園園地跡地
- 参加者数:延べ40名(落合沼15名、泥炭採掘跡地・山本農場11名、原生花園園地跡地14名)



1 泥炭採掘跡地で植生の復元状況を見学。 2 自然再生の取り組みについての事前学習。
3 山本農場で湿原と農業の共生について話を聞く。

活動内容・成果

上サロベツ自然再生事業を地域の方々や広く一般の方々に知っていただくため、サロベツ環境学習ツアーを開催しました。環境学習ツアーでは、普段は立ち入ることのできない調査用の木道を通り、「落合沼」「泥炭採掘跡地」「原生花園園地跡地」での自然再生事業の取り組み内容やその成果などを紹介しました。また、農業と湿原の共生にも気を配りながら酪農を営む山本農場も見学させていただきました。

ツアー後のアンケートの結果、自然再生事業について関心が高まった方や、今後自然再生事業に関する活動に参加したいと感じた方が多いことが分かり、今後の活動につながる機会をつくることができました。

実施者からの声

地域の方に湿原が再生されていく様子を見守っていただけるよう定期的にこのような機会をつくれたらと思っています。

- 連絡先:環境省 稚内自然保護官事務所
- TEL:0162-33-1100 ●E-mail:RO_WAKKANAI@env.go.jp



サロベツ・エコモーDay

- 主催:環境省 稚内自然保護官事務所
- 協力:エコモー★サポーター、豊富町、豊富観光開発協同組合、NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク 他

- 日時:10月20日(土)9:30~16:30
- 場所:サロベツ湿原センター・レストハウスサロベツ
- 参加者数:133名



1 豊富牛乳を使ったメニューコンテスト(レストハウスサロベツ)。 2 エコモー交流会の様子。
3 JA北宗谷青年部の協力で湿原センターに牧草ローラーを展示。

活動内容・成果

地域の方々に、湿原と農業の共生を目指したサロベツ自然再生事業をより身近に感じていただくため、サロベツ・エコモーDayを開催しました。エコモーDayでは、「サロベツを食べよう」「自然再生エコツアー」「トラクターに乗ってみよう」「浚渫船に乗ってみよう」「自然再生を知ろう」「エコモー交流会」の6種類のイベントを行い、豊富牛乳を使ったメニューコンテストなど、サロベツの湿原と農業の共生を楽しみながら知る1日となりました。

初めての開催だったため参加人数は多くはありませんでしたが、たくさんの方の協力があったからこそこのようなイベントを開催することができました。

実施者からの声

エコモーDayの開催に協力してくださった皆さん、本当にありがとうございました。今後も、自然再生をより楽しく地域の方々に伝えていけたらと思います。

- 連絡先:環境省 稚内自然保護官事務所
- TEL:0162-33-1100 ●E-mail:RO_WAKKANAI@env.go.jp



ごみのポイ捨て防止啓発活動

- 主催: 農地・水保管理支払交付金 豊徳地区協議会
- 協力: 環境省 稚内自然保護官事務所

- 日 時: 5月13日(日)
- 場 所: サロベツ湿原センター前駐車場
- 参加者数: 26名



1 ドライバーにメッセージカードと豊富牛乳を配布。



2



3

2 小中学生も活動のお手伝い。 3 配布したメッセージカード。

活動内容・成果

豊徳地区協議会の中で平成22年から年1回行っている活動として、国立公園内のごみポイ捨て防止の啓発活動があります。サロベツの美しい風景写真に、手描きの牛のイラストや、ポイ捨て防止を呼び掛けるメッセージを書き、このメッセージカードと豊富牛乳を、訪れたドライバーに手渡して啓発を行っているものです。

実施者からの声

この活動で、身近なサロベツ湿原の自然を伝えること、守ることに少し役に立てたのではないかと思います。

- 連絡先: 豊富町役場農政課
- TEL: 0162-82-1001 (代表)

サロベツ周辺マップ



★ サロベツ湿原センター

サロベツ湿原の玄関口として、「人と自然の共生」をテーマに、サロベツ湿原の自然、人文、歴史、また、自然再生の取り組みなどを紹介しています。



★ 幌延ビジターセンター

幌延ビジターセンターを起点に、長沼～小沼～パンケ沼へと続く片道3kmの木道が通っています。木道からは、春から秋にかけて美しい湿原の植生や野鳥を観察することができます。

